としょかんワークショップ「みんなではなそう未来の図書館」一般編 3 回 詳細版 令和 2 年 9 月 27 日 (日) 9:00~12:05

<開会>9:00~ 生涯学習課菊池

それではですね、ご案内の時間になりましたので始めさせていただきます。改めまして、としょかんワークショップ第 3 回を始めさせていただきます。本日も「みんなではなそう未来の図書館一般編」にご参加をいただきまして、大変ありがとうございます。前回第 2 回目はテーマに「みんなでおさらい基本構想」ということで、新花巻図書館整備で今「やってみたい」「やれる」「求められている」「ゆずれない」「やってあげられる」という 5 つのテーマで皆さんからたくさんご意見をいただきました。さて今回の第 3 回ですが、テーマは「みんなではなそう夢のとしょかん」ということで前回に続いてワークショップを行っていきたいと思います。本日もみなさんで愛着を持って利用してもらえるそんな図書館を考えていきたいと思います。よろしくお願いします。まずは開催に先立ちまして生涯学習部長の市川からご挨拶いたします。

生涯学習部長

みなさん、おはようございます。今日は第 3 回目のワークショップということで、少し行きづらいかもしれませんが交流会館、こちらで開催させてもらいました。こういう場所もあるんだよということを、ご存知だと思いますが、少し離れた場所でやっていただくというのも考えてのことでございます。またこの天気が悪い中、たくさん参加をいただきまして大変ありがとうございます。今日から高校生と 20 代のみなさんも一緒に入ってのワークショップになります。高校生・20 代のみなさんは先にワークショップを少しやりまして、いろんなアイデアを出していただいております。それらも踏まえまして一般編の皆さんで、新しい図書館のアイデアをまとめて、基本計画の素案のもとになるような、意見をいただければなというふうに考えております。毎回時間がなくなってきて、もうちょっと時間があればいいなというような意見もいただいておりますので、今回挨拶は短めにしてですね、皆さんで考えていただく時間をお願いしたいというふうにします。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

生涯学習課菊池

はい。ありがとうございました。本日もアドバイザーといたしまして、富士大学の早川先生にお越しをいただいております。よろしくお願いいたします。今日も要所要所で先生にアドバイスをいただきたいなと思います。それから今日もまた進行しますのは生涯学習課の菊池です。よろしくお願いいたします。それでは本日のタイムスケジュールということで、簡単に説明してまいりたいと思います。皆さんの資料の3ページにも、時間割等を載せておりましたけどもスクリーンのほうにも映してまいります。この後9時10分からですが、早速ですけどもワークショップのほうに入っていきたいということになります。今回なんですが、時間は1時

間ちょっとぐらいずつとるんですけども、休憩時間というのをしっかりとるとい う感じではなくてですね。最後の 10 分間ぐらいなんですが、作業しながら、休憩 しながらという感じで、各班で自由にやっていただければいいかな、作業しながら でもいいです、休憩しながらでもいいですというような感じでやっていただけれ ばいいのかなということで考えております。ワークショップ1の最後の10分間換 気しながらということで進めます。途中で 1 回早川先生にワンポイントでアドバ イスをいただきながら、後半のワークショップにということで、進んでいきたいと 思います。最後、今日も皆さんの班の発表をお願いするということで 11 時 25 分 ころから、発表の時間というふうにしたいと思います。その後、講評をいただいて、 事務連絡をして 12 時には解散という流れで進めてまいりたいと思います。 おおよ そこの時間で進めさせていただきたいと思いますが、先ほど部長の市川からも申 し上げましたが、時間がですね、いつもちょっと押しぎみになりまして大変申しわ けございません。もし途中で抜けたいといった場合には、出ていただいて構わない ということであります。それから本日も、カメラでの撮影をしておりますので、ち ょっと嫌だという方はおっしゃっていただければなというふうに思います。それ でですね、毎回毎回ちょっと会場変わりまして、大変申しわけございません。この 会場もですね、コロナ対策のためですね、定員での利用ということで、使っており ますし、換気もですね、なかなかちょっと窓をあけられないというような状況の建 物でもあるんですが、廊下とか開けながら換気をしながら行っていきたいという ふうに思いますのでお願いいたします。それからマスクの着用も、お願いをいたし ます。なお途中でですね、気分が悪いよという方おりましたらば、遠慮せずにスタ ッフのほうにお声がけをいただきたいというふうに思います。それではですね、早 速なんですが、ワークショップのほうに入っていきたいと思うんですが、ちょっと 皆さんなんかしーんとしているので、簡単にアイスブレイクなどしながら、時間が ないという中なんですが、やっていきたいと思いますけどちょっといいですか。す いませんマイクなしでアイスブレイクやらせていただきます。

(アイスブレイク)

それではですね、すいません、早速ですけども、ワークショップのほうに入っていきたいと思います。まずは参加者交流からですね、始めたいと思います。今各テーブルには、参加者の皆さん、それからテーブルのファシリテーター、職員のスタッフ、それから花巻市立図書館の職員が入っているというテーブルになっております。先ほど厳正なるくじでですね、テーブルが決まりました班なんですが、3回目から5回目まで、このメンバーを基本に進めていきたいなというふうに考えております。特にも今回からですね、高校生、それから20代の皆さんにも参加をしていただいております。お互いにはじめましてという状況ですので、皆さんで参加者交流をやっていただくということになります。なおですねちょっと名簿にお2

人ほど昨日ですね、参加したいということで追加になった方がおります。それでは、1人30秒程度でいいかと思うんですが、お名前と、仕事、それから学校とかですね。あとは今日の意気込み、最後に宝くじで100万円が当たったら何がしたいかというのをですね、自己紹介したいと思います。100万じゃ少ないという人は、額増やしてもらってもいいです。それでは自己紹介スタートでお願いします。

(自己紹介)

生涯学習課菊池

すいません、まだ終わってないところもあるかもしれないんですが、進めてま いります。今回の作業の説明をしたいと思います。ちょっとスクリーンのほうにご 注目をお願いします。前回の5つのテーマ「やってみたい」「やれる」「求められて いる」「ゆずれない」「やってあげられる」から、意見やアイデアがたくさん出され ました。各班でまとめたアイデアは壁のほうに貼っております。資料としてまとめ たものも皆さんのお手元に配布しています。前回参加ができませんでした、または 今回から参加する皆さんは、資料などでどんな意見とかアイデアがあったのかを 確認をお願いします。今回の作業は前半後半大きく分けて二つです。前半のワーク ショップでは、意見やアイデアは 3 つの基本カテゴリーというものに分類してい くんですが、後半のワークでは 3 つのカテゴリーに分けた中身から重点を考える ということで、進めていきたいと思います。前半は分類、そして後半は重点を考え るとなります。それから先ほども言いましたが、今回休憩を特にしっかりと、取る ということはしませんので、班ごとに休憩入れていただいて構いませんし、ただ し、ワークショップその1その2もですね、後半10分間は換気の作業とかを入れ たいと思いますのでお願いいたします。まずは、大きな一つ目の作業の分類という ことです。まずは1人で、分類の作業を行います。時間は10分ぐらいでいきたい と思います。前回はある程度自由に思い思いに意見やアイデアを出してもらった ということになります。今回はより理想的な図書館に近づけるために、基本となる 3つのカテゴリー準備しました。1つ目は「本・資料・情報」です。2つ目は、「運 営・サービス」です。3つ目は「建物・環境・施設・家具」、ちょっと3つ目が欲 張りな感じでいっぱいなんですが、この 3 つのカテゴリーにまずは分けていただ くということになります。ちなみに私のほうで前回皆さんから出していただいた 意見・アイデアをですね、ちょっと割り振りしてみました。皆さんのアイデアは3 つで分類しますと、あくまでもこれは私が分けたパターンですけども、多かった答 えがですね、2番目の「運営・サービス」の部分が158件ということで1番多かっ たということになります。次に多いのが「建物・環境・施設・家具 | という部分に なります。実際にどういうふうに割り振りするのかということなんですが、ちょっ と分類の例です。例えば「本・資料・情報」については、皆さんから出してもらっ たものから拾ったんですが、これは「各種の本をいっぱい | とか「SNSで発信 | 「花巻市の現代史の本」なんていう項目が載ってますので、こういったものが例え

ば「本・資料・情報」に入るのかなというふうに考えました。2つ目「運営・サー ビス」です。例えばですけども、「読んでくれる人がいる」「進路相談会」「しきい を低く」なんていうのが、もしかして運営サービスに入るのかなということで選ん でみました。ちょっと早川先生に違うって言われるかもしれないんですけども。あ くまでも私の分けたものです。3点目「建物・環境・施設・家具」のところでは、 こういったものが当たるのかなと思っておりました。「知を求めて 1 日いられる」 それから「空間分け」「自然を感じられる」「どの年代も行きやすい」なんていうの がこういったものに入るのかなと。いうところです。ではどのテーマを分類すれば いいのかということなんですが、たくさん出していただきましたので、前回ご自分 が参加して考えたテーマ、前回 2 テーマ考えていただいたわけなんですが、自分 が参加して考えたテーマからでもいいですし、別のテーマからでもいいです。基本 は、一つのテーマを選んでいただきたいと思います。それから高校生・20代の皆 さんには、高校生・20 代編のワークショップで出されたアイデアを準備してます。 その中から自分が参加した班のものでもいいですし、別の班のものでもいいです。 だけども、一般編で出されたアイデアで考えてみたいというのはそれでもオーケ ーです。要は一般編高校生・20 代編どれを使って考えてもオーケーということに したいと思います。でも基本は 1 人一つのテーマを選んでいただいて、分類して もらいたいと思います。1 点だけですが「建物・環境・施設・家具」の「環境」に ついてなんですけども、いろんな受け取り方ができると思うんですけども、図書館 の利用環境の部分については「運営・サービス」のほうに分類してもらいたいなと いうことでちょっと先生から言われております。ちょっと難しいかもしれません けど悩んだ時には言っていただければなと思います。そして、説明が長くなって申 しわけありません、具体の作業の説明になります。後半のことまでちょっと触れて きますが、後半は 3 つのカテゴリーから重点を導き出すという作業を行っていき ます。ですので後半につなげやすくするために、まずは、自分の中でこれは重要だ、 大事だと思うものを、選ぶ作業をしていきたいと思います。直感でたくさん選んで いただいて構わないです。ちょっと手間なんですが、今日も付せん用紙、ポストイ ット準備しておりましたので、それに書き込みながら作業すると発表するときに 効率がいいのかなというふうに思います。いいでしょうか。テーマはひとつ選んで いただく、そして後半の作業につなげるために、自分で重要だと思うものをポスト イットに書きながら選んでいくという作業をまず最初にやっていくことをお願い したいと思います。一緒にテーブルファシリの皆さんも考えながら進めていただ ければなと思います。大体こんな感じなんですがよろしいでしょうか。やってみな がらいきたいと思います。はい。ではまず1人で考えるということで、まず10分 間考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

(ひとりで考える)

生涯学習課菊池

はい。それではですね、大体これで10分経ちました。ちょっと今日タイマー等 の音もなかなか入れづらいので、私のほうでタイマーも計ってましたけどもこん な感覚で大体10分になります。次の作業も、説明していきたいと思います。次は、 今 1 人で考えられたこれは重要だと思うもの、これを班の中でですね、皆さんで 発表をするという時間にしたいと思います。発表の方法ですが、ポストイットに書 かれているものを 3 つのカテゴリーにエリア分けしてですね、ちょっと今スクリ ーンのほうに映してましたが、こんな感じでもいいですし、上下 3 段でもいいん ですが、こんな感じで 3 つのカテゴリーに分けていただいて発表しながら、分類 していくというような作業にしたいと思います。エリア分けのデザインは自由で すので、各班でお願いをいたします。早く終わったところですが、次のディスカッ ションも話し合いをしながら、しっかりと分類されているか、お互いこの分類で合 意がとれるかどうか、という作業にしたいと思いますので、意見を広げる作業にな ります。そちらに移っていただいてもオーケーです。重要と重要足し合わせてです ねさらに新しい重要が生まれるかもしれません。今日新しく足したものについて は、今日出ましたっていうふうな形でわかるように、右上に星印でも書いていただ ければいいのかなと思います。そんな感じで発表の作業に入っていきたいと思い ます。これもちょっと大体 15 分ぐらいできたいと思います。今から 15 分ぐらい で発表しながら、分類をしていくという形の作業を行います。よろしいでしょう か。それでは、お願いいたします。

(班内で発表と分類)

生涯学習課菊池

発表しながら進んでいることと思います。皆さんの意見を広げながら、グルーピングとかしながらですね、進める時間にしていただいていいと思います。分類しながら、皆さんで話し合いの時間にしていただきたいと思います。

(班内で考えを広げる)

生涯学習課菊池

はい、皆さん。大体ですね。前半の予定の時間となっておりす。ここからは 10 分間休憩等を含めながら進めてください。

(換気・班ごとに休憩)

生涯学習課菊池

すいません、話し合いされてると思いますが、1回ちょっと作業ストップしていただいてもいいでしょうか。ちょっとここでですね、早川先生からちょっとワンポイントアドバイスということで、一言いただきたいと思いますのでちょっと早川先生のほうにご注目いただければなと思います。よろしくお願いします。

早川教授

はい。非常にいい雰囲気でたくさん意見が出て、もう理想的な形で進んでると

思うので、特別、私のほうから申し上げることはそんなにないんですが、皆さんの中でミヒャエル・エンデの『はてしない物語』って読んだことありますか。その中でこんなシーンが出てきます。ファンタージエンっていう世界の中に、突然漆黒の闇が広がっていくシーンが出てきます。黒の闇に覆われそうになるシーンが出てきます。その漆黒の闇が広がったのはいつからか、という場面が出てきます。それは、大人が夢を語らなくなったときから、ファンタージエンに漆黒の闇が広がっていった、というのを皆さんのワークショップを見ていて思い出しました。それをバスチアン・バルタザール・ブックスっていう主人公が救いに行く話なんですけども、ぜひ読んだことのない方、『はてしない物語』という、岩波から出てますので。あとは『モモ』っていうお話もぜひ読んでみてください。あとは、最後にですね。「図書館は民主主義の学校」って言われたりします。まさしく、今皆さんがやられていることが、そのものだなあと思います。本当にこのワークショップは、いろんな人に見てもらいたいなって、市役所職員の若い世代の職員も含めて、そういうモデルになり得るかなっていうふうに感じます。皆さんの楽しそうにやってる表情を見てそのように感じました。私から以上です。

生涯学習課菊池

ありがとうございました。それではですね、先ほどまで活発に話し合いをして いただきました。大変ありがとうございます。まだちょっとまだまだ足りないとい うところもあるかもしれないんですが、ここからは、後半のほうの作業に入ってい きたいと思います。先ほどですね、皆さんにたくさんのアイデアを分類までしてい ただいたということになります。先ほど出ましたものを 3 つのカテゴリーに分類 してきたんですが、ここからは各班が考える重点、重要な部分を導き出すという作 業をしていただきたいなと思います。今3つに分かれているわけですが、その3つ に分かれている中から、まずは最初また 1 人で考えるというところから始めてい ただきたいんですが、ちょっとまた若干難しい作業になってくるかもしれません。 3つの大きなカテゴリーになってると思いますので、一人一人重点を考えるという ことではどうでしょうかということで、作業を進めていきたいと思います。また例 えばでお話ししたいと思います。今たくさん貼ってもらってるわけなんですが、例 えば、今ちょっとスクリーン出してましたけども、「本・資料・情報」ということ であれば、「先人と郷土資料、観光情報を収集しSNSで発信する」とかですね。 2番目、「運営・サービス」であれば「サービスにもユニバーサルデザインの気持 ちを取り入れる」とかですね、これぐらいの簡単な文章でいいのかなと思います。 これ私が皆さんから出されたアイデアを適当に組み合わせして、適当にっていう のもあれですけども、重点的な感じにつくってみたものであります。もう一つ、例 えば3番目「建物、環境、施設・家具」ですと、例えば「個人や団体、子どもから 高齢者が快適と思えるスペースを提案できる」とかですね。あとは「自転車、シニ アカーなど専用の使いやすい駐車スペースの確保 | とかですね。こんな感じの、こ とでいいのかなと思います。あるいは全く変わった、違う観点から考えていただい

てもいいです。こういう感じで、3つの大きなカテゴリーごとに重点を考えていただきたいというものになります。付せん用紙のほかにコピー用紙なんかも準備してますので、そういったものも使いながら、作業をしていただければなと思います。まずは、1人で考えるということで、また10分間ぐらいですね、ちょっと黙々と考える作業をお願いできればなと思います。よろしいでしょうか。そのあとまた話し合いの作業になりますので、先ほどの続きでもいいです。それでは作業をお願いたします。言い忘れました。後半の作業時間の目安です。11時25分。後半の時間にしたいと思います。11時25分を目安に作業をお願いします。

(ひとりで考える)

生涯学習課菊池

はい、ここでですね、大体 10 分経過しました。1 人で考える時間というのを終了にしたいと思います。ちょっとまだ考えつかないよという方もいるかもしれませんが、一旦1 人で考える時間ここで終了としたいと思います。次ですけども、1 人で考えた重点をみんなで発表してもらうという時間にしてもらいたいと思います。大体時間は 15 分間ぐらいなんですが、発表の時間としてもらいたいと思います。ちなみにですね、模造紙に付せんがたくさん貼ってると思うんですが、新しい模造紙とかありますので、新しい模造紙に重点を書き込みながら進めていければいいのかなと思っております。ちょっと図書館職員の皆さんとかですね書き込み作業とか手伝ってもらえればなと思います。よろしいでしょうか。今考えた重点をみんなで発表する時間というふうにしたいと思います。なお今日もですね、最後に班ごとに重点まで発表してもらいたいと思いますが、今日は参加者のどなたかに発表してもらいたいと思いますが、今日は参加者のどなたかに発表してもらいたいと思いますが、今日は参加者のどなたかに発表してもらいたいと思いますので、発表者のほうもあらかじめ決めておいてください。それでは、発表する時間としたいと思います。よろしくお願いします。

(班内で発表)

生涯学習課菊池

はい、たくさん発表されてると思いますが、班ごとに発表するようにそろそろペーパーのほうにも重点をまとめていく作業に移っていただければと思います。話し合いをしながら、重点をまとめるという作業に入っていければいいかなと思います。ここからは大体目安で 20 分間ぐらいなんですが、ペーパーのほうにも、発表できる感じで、重点決めていただければいいのかなと思います。よろしいでしょうか。

(重点をみんなで考える)

生涯学習課菊池

それではですね、ここから、休憩時間含めの時間にしたいと思います。ここから は休憩時間も含めの時間としたいと思います。休憩時間も含めます。作業を続けて もいいです。発表時間は11時25分からを予定してます。

(換気・休憩)

生涯学習課菊池

はい。それではですね皆さん。お約束の時間、11 時 25 分になりました。発表の時間にしていきたいと思います。それでは大体準備ができてる感じですので発表の時間にしたいと思います。班ごとにどんな様子だったかっていうのを発表していただきたいですし、それぞれ重点を発表していただきたいと思います。どこから発表しますか。7 班から元気よく手が挙がりましたので、7 班から発表していきたいなと思います。よろしいでしょうか。

7 班

7班から発表します。よろしくお願いします。3つのテーマで「本・資料・情報」 においてはやはり図書館ですので、本が基本ということで、知的欲求を満たすとい うことが基本であるということでそれで、正規の司書、専門家の方をそろえていた だく。あと、当然十分な蔵書、あと花巻郷土資料、あと花巻の偉人、賢治さんとか たくさんありますけどその資料をそろえると、それで知的欲求の追求ですね。あと もう一つ、情報集約発信ということで、図書館においてインターネット、ニュース レター、あとチラシとかポスター、いろんな情報発信の仕方があると思います。そ れを図書館で集約、花巻の場合ちょっとばらばらな感じがするので、図書館に行け ば何でもわかる、図書館に行けばそういう情報を得るという、集約の場、発信の場 にするということですね。あと「運営・サービス」の件では、図書館ライフワーク ということを聞きまして、これから生涯教育生涯学習の時代になりますので子ど もから中学生、大人になるまで皆さんが利用し続ける、大人になっても利用し続け るという、その中で開館時間を例えば朝 6 時から夜遅く、11 時とか開館時間も長 くしてほしい。あと花巻の歴史を大事にするということで賢治塾ですね、市の方針 として賢治の香るまちづくりというのがありますのでその市の方針に沿って賢治 に関すること含めてこの周辺として歴史を大事にするということを進めていただ ければと。「建物・環境・施設・家具」、ユニバーサルデザインという言葉があって ですね、国籍とか年齢文化関係なくいろんな方が利用しやすいという言葉だそう です。そういうことで、誰でも受け入れて誰でも優しい、当然広いゆとりの空間が 必要でありますし、障がい者の方に対してバリアフリー、エレベーター、フリース ペース、どなたでも使いやすい図書館で、間仕切りを自由に利用できて小規模スペ ース無料とか、学習室のいろんな形ができるような間仕切りづくりをしてほしい、 あと引きこもり、不登校、外国から来た居住者、あと障がい者の方の居場所づくり としても図書館の役目があるんじゃないかなと。それを総合しまして、出会いの場 というので一つ大きくまとめて、本に出会う人に出会う、未来の自分に出会う未来 のあなたに出会うという一つのキーワードとして挙げました。以上です。

生涯学習課菊池

はい。ありがとうございました。ぴったり 3 分で発表されました。ありがとうございます。はい。続きましては、どっかやりたいところありますか。じゃ、2 班の発表をお願いいたします。

2 班

2 班です。2 班は意見がまとめきれなかったので特に重要だなと思ったところを絞って発表します。1 番「本・資料・情報」に関しては、賢治の精神をもとにした資料がたくさんある図書館。また、いろんなジャンルの本がある図書館、また、本以外の資料がたくさんあるっていうことについて話しました。2 番「運営・サービス」については、日本一開いてる図書館。各種イベントを開催、賢治の朗読会など、オープニングセレモニーを派手にする。また、誰にでも使いやすい検索機などをつくるということを考えました。3 番「建物・環境・施設・家具」については、明るく居心地のいい空気が流れている図書館がいいなと思いました。あと長時間利用が可能で強いWi-Fiが管理されており、飲食スペースやテラス席があったらいいなと思います。あと民間企業とコラボして最先端技術や地域の触れ合い、若者が地元で働く将来を考えられるところになればなと思いました。あと全国への手本となる障がい者の方や外国の方にもわかりやすく使いやすいようなユニバーサルデザインを取り入れればいいかなと思います。周囲の環境に合わせて賢治の世界を感じられる建築だったりしたらいいかなあと思いました。2 班の発表を終わります。以上です。

生涯学習課菊池

はい、ありがとうございました。日本一開いてる図書館ってどんな図書館なのか楽しみです。続きましては、1班の発表となります。

1 班

1 班の発表をします。さまざまな意見が出たんですけれどもこの表に書いてあるのは、多い意見をまとめたものになります。1 番の「本・資料・情報」については、利用者の方も自由にですね、SNSを使って情報を発信するということと、花巻の後世に受け継げるよう、地域ならではの資料の充実、オンライン関連の充実とありますが、本とか、雑誌CD・DVDとかいろいろさまざまな意見あって、情報の格差がないようにっていうのがあったんですけれども、特に今はオンラインブックが充実してほしいという意見です。2 番の「運営・サービス」については、あらゆる人にとってアクセスしやすい開館時間、具体的には夜間開館があったらいいなっていう話がありました。また、人との交流を生むイベントの企画、一日中いられるレジャー施設のような図書館っていう意見がでました。3 番「建物・環境・施設・家具」は、老若男女家にいるような感覚で利用できる、これはくつろげる、居心地がいい家にいるような、ずっといられるような、2 番に共通するんですけども、1 日中いれるような感じの環境であったらいいなと思っています。あらゆる年齢層にとって利用しやすい場所に図書館を配置してほしいと思っています。また、いろんな用途を図書館、場所を使ってミニシアターと

か、ライブスペースなど、さまざまな意見が出たんですが、特に地元企業と若者をつなげる、地域活性化に発展させる図書館であってほしいという意見がありました。そして最後に、今日こういう話し合いをして出た意見っていうのは、私自身の考えですけど、木の枝の葉にすぎなくて、その根っこにある部分っていうのは、司書さんの行動力だと思うので、例えば新図書館ができてから、これやるってなったらそんなてきぱきできないと思うので今、今日この場に花巻市の図書館の方、職員さんとかいるんですけど、今から始められることってあると思うのでそれをやっていければいいんじゃないかなと思います。以上です。

生涯学習課菊池

はい。ありがとうございました。重点からさらに提言までいただきまして、細 やかに、ありがとうございます。はい。次は6班いきます。

6班

6 班はとてもバラエティー豊かなメンバーが集まりまして、いろんな視点から 意見が出たので、やっぱりみんなが使いやすい図書館がいいよねというふうな テーマで話し合いをしました。子どもからママから年配者から、障がい者、みん なが使いやすい図書館ということで、話し合ったところ、本や資料や情報はやっ ぱりデジタル化が必要だよねということになりました。専門的な資料やデータ も取りそろえて、それから、貴重な資料が保存できて、かつ閲覧もできるってい うところがポイントかなというふうに思います。それからアクセスしやすいっ ていうところで、情報を探しやすいというところも大事だなというふうに話し 合いました。それから、障がいがある人だったり年配者で目が遠くなってきたり とかしても、読みやすいっていうところも、デジタル化のいいところじゃないか なというふうに思います。それから蔵書数に関しては、十分な量と洗練された質 が必要であるというふうな意見になりました。多岐にわたる情報ですね、図書資 料だけじゃなくって、この間のワークショップでも出ましたけれども、子育て情 報だったりとか、就職情報だったりとか、それから市民団体の活動の様子なんか も知れる、いろんな情報があるといいなということで、話が出ました。それから 運営サービスについて、誰でも利用できて行けば何かできる、目的がなくても行 きたくなるような図書館というふうに話し合いをしました。そのためのポイン トとして、まずは行きやすいということが一つ大事なんじゃないかという話に なりました。例えば今コロナなのでいろんなところでやってますけど、混雑状況 がわかるサービスだったり、それからレンタサイクル、駅から自転車で行けたり とか、交通機関が充実しているととてもいいなあというふうに出ました。特に学 生さんとかは、車がないので、レンタサイクルとかいいなあという話が出まし た。そしてやっぱり行ったら使いやすい、毎日行きたくなるような工夫があると いいなというふうに話し合いました。例えば、一時的な子どもの預かりであった りとか、読み聞かせがあったりとか、あと週替わりとかでお薦め本がポップとか でで掲示してあったりとか、そういう工夫がいろいろあるといいんじゃないか なあというふうな話になりました。で、行ってみたくなるようなサービスも欲し いなということで就活支援、それからスマホやパソコンの教室があったりとか、 みんなの居場所になるような場所であったらいいなというふうに話し合いまし た。「建物・環境・施設・家具」については、目的を限定せずにマルチに活動で きることがとてもすばらしいんじゃないかということで、まず利用しやすい、学 生さんとか文具も購入できたらいいなとか、それからユニバーサルデザインで やっぱりみんなが使いやすい家具だったりが使われてるといいなというふうな 意見出ました。カフェがあったらいいな、そして、ICT、情報、情報が活用で きる機器、充実していたらいいなと。これが、一般的なスマホとかもそうなんで すけれども、障がい者向けであったりとかっていうICTも充実しているとと てもすばらしいなというふうに話し合いました。そして滞在しやすい。個室やグ ループで使えるスペースがやっぱりあったらいいんじゃないか、学生さんが落 ちついて勉強できたりとか、やっぱり勉強していると周りで話が聞こえたりす るとちょっと気になるので、やっぱりスペースがいっぱい分かれていて、グルー プで使えるスペースだったり個室だったりっていうところがあるといいですし、 うたた寝していたりとかしてもいいような、長くいられる居場所があったら、と てもすてきだなあと 1 日いたいなっていうふうな話になりました。そのほかに も、美術ギャラリーや音楽スタジオ、野外ステージといった、市民が多目的に活 動できる場所が併設されているととてもすてきだなというふうに思います。6班 はみんなが使いやすい図書館ということで以上の話し合いをさせていただきま した。以上です。

生涯学習課菊池

ありがとうございました。みんなが使いやすい図書館は大項目の重点にも掲げております。5 班が元気よく手を挙げておりますので、5 班お願いします。

5 班

5 班です。ブラッシュアップにブラッシュアップを重ねた、短い文言でテキストをつくらせていただきました。1番「本・資料・情報」について、デジタル化の推進ということで、本のデジタルはもちろんなんですけども、検索情報のほうも、もっといっぱい詰め込みまして、デジタルで検索することによって欲しい情報にたどり着けるような情報が欲しい。資料についてもデジタル化、そのほかに、AI 司書っていうのをつくりまして、ちょっとした質問とか対応であれば、職員の人を介さなくても、図書館の利用、本を探したりちょっとどっかに行ったりとか何かしたり、そういうのができる仕組みがあるといいなという話になりました。2番、花巻を知るスタートの場になる図書館になってほしいと、観光情報ですとか先ほどちょっと書いてないけど子育ての情報ですとか、あとは企業の情報、そういったものを知れるような図書館になってくれればなということで、そちらのほう、充実したいなという話になります。「運営・サービス」は、まずは時間ですね、全ての人、多様なライフスタイルの方がやっぱりいらっしゃ

るので、そういった方々に対応する広い運営の時間帯とかですね、あとはチャレ ンジできる場所、チャレンジショップっていう名前にしたんですけれども、いろ んな市民の方が、例えば芸術分野とか写真だとか絵とか音楽も含めていろんな 趣味とかやってる方いらっしゃると思うので、そういうことを発表できる場と か、例えば大学生が何か挑戦できる場所、なんかお店を出したりだとか、ってい う場所も提供できたらいいのかなと。例えば図書館の本とか資料見て得たこと を行動に移せる場所、っていうことにもできたらいいのかなというふうに思い ます。「建物・環境・施設・家具」についてですけども、こちら皆さんほかのグ ループに言われてるとおり来やすい立地、車だろうが、自転車だろうが徒歩だろ うがバス、公共交通機関のバスだろうが、みんなにとって来やすい土地にあるの がまず、一つ大事だと思います。花巻市のほうでどこに人を集めたいかっていう ことが逆に言えるかと思いますけれども、いろんな人が来やすい立地は、まず大 前提だと思います。次にそれぞれの過ごし方に合わせたゾーニング、建物の中ス ペースを区分け、使う人、例えば遊びに来た小学生だったり勉強しに来た高校生 だったり、デートしに来たカップルだったり、高齢者の方だったり、いろんな人 が来て、楽しく過ごせるような、空間づくり、空間を分ける、ゾーニングするの が大事だと思って3番のテーマとさせていただきました。では、以上で、5班の 発表を終わります。ありがとうございました。

生涯学習課菊池

はい。ありがとうございました。5班の発表でした。はい。じゃあ4班お願いします。

4 班

4 班です。各分類の重点を探っていたときに、みんな核となるところは大体 同じことだなというふうになったのでそれを短くまとめました。まず「本・資 料・情報 | についてです。 困ったときは図書館へ行こうと思ってもらえるような 図書館になるといいなと思いました。具体的には知りたい、調べたい花巻のこと ということで、花巻の歴史、先人のことはもちろん、イベントだったりサークル 情報、飲食店のこと、あらゆる情報が集まる図書館であってほしいなと思いまし た。いろいろな資料があるということで、蔵書が充実しているのはもちろんです が、そのほかに耳から入る資料、オーディオブックだったり朗読CDとかいろん な分野が充実しているといいなという意見が出ました。それから外国語の資料 の充実ということで、外国語を学ぼうとしている方であったり、あと外国から来 ていて花巻に在住している方が母国語の本が読めたらいいなというようなこと で、外国語資料が充実している図書館であればいいなという意見も出ました。ま とめて、みんなが知りたくなるような情報を発信していける図書館であればい いなというふうにまとめました。次に「運営・サービス」についてなんですが、 まず大前提として、基本構想に沿った運営を行っていくということが挙げられ ました。次に、こういったいろいろなサービス、こんなものがあったらいいなっ

ていうことがたくさん出てきたんですけれども、まずそれらを実現するために は正規の司書ですとかICT、ITですとか、デジタル技術っていうのを導入す るのであればそういった専門技術を持った職員をしっかり増員したり配置した りするっていうことが、必要であるってことが挙げられました。やっぱり、これ から図書館を新しくつくっていくと、規模も大きくなると思うんですけども、そ のときに、頭数さえそろっていれば臨時職員でもいいっていうことではなくて、 しっかりこの先長い何年もその場で図書館をつくっていける職員を配置する必 要があるという意見が出ました。次に、ボランティアとの協働っていうことが挙 げられました。具体的には、例えば学生ボランティアが運営する、10代20代の ためのティーンズコーナーであったりとか、ここにちょっと書いてないんです けども、障がい者の方がボランティアとして実際に、図書館の運営に関わってい くということで、その当事者がどんなふうに思っているかっていうのはやっぱ り当事者でないとわからないのでそういった部分を反映できる仕組みが必要か なというふうに思います。次に、やっぱり開館時間がみんなに使いやすい時間設 定であるということ、例えば毎日夜遅くまで開館するということが難しくても、 まず曜日に応じて平日は夜遅くまでだったり、土日はちょっと開館時間遅めに ですとかそういった曜日の傾向に合わせて開館時間設定するっていうことも考 えられるかなと思います。次に、出張図書館っていうことなんですけども、例え ば、駅前や公共の場にちょっとした図書スペースを設置していくっていうこと が挙げられました。やっぱり図書館のことを知るには図書館に行かないとわか らないっていうのではなくて、図書館自体がもっとこう建物の外に出て地域の 人と積極的に交流することで、いろいろな要望を受けて、それに応えられる運営 をしていければいいなと思います。では次に、「建物・環境・施設・家具」につ いて発表いたします。「建物・環境・施設・家具」については、話し合った結果、 自然豊かでみんながくつろげる空間にしたいという話にまとまりました。皆さ ん図書館に行くときどのような目的で図書館に行くでしょうか。勉強したり調 べものしたり、本のお話をしたいなっていう人もたくさんいると思います。その ため、年代、用途に応じた空間を分ける必要があると思います。静かに本読みた い人もいれば、実際に話し合って交流したいっていう人もいると思うので、その ような空間分けが必要だと思います。また、みんながくつろげるということで、 障がい者が利用しやすい施設にすることも必要だと思います。例えば、車椅子の 方が通りやすいドアの広さであったりとか、屋内駐車場で、雨などをしのげるス ペースだったり、また、盲導犬なども実際に入りやすいような空間にすることが 必要だと思います。また、ほかにも、情報にアクセスできる設備が必要だと思い ます。実際に行きやすい空間、施設であれば、みんながくつろげる施設につなが るのではないかと思います。また、図書館のほかにも、実際にイベントであった り、そのようなスペースにも多様に活用できる施設であればよいと思いました。 以上で4班の発表を終わります。御清聴ありがとうございました。

生涯学習課菊池

はい、4 班発表ありがとうございます。それでは最後、3 班の発表になります。

3 班

はい、3班です。まずいろいろ意見は出ていて、もっともっと夢のことを語りた いよねっていうのが本当の正直なところです。なので、ここで重点とかっていう形 でこの 3 分類に分けて考えるというのは非常に困難な、私たちにとってはすごく 厳しい時間だったっていうことがあります。で、ここに書いたのは例として言うん ですけど本心じゃないっていうことも半分あるので、ごめんなさい、発表の時間い ただいてるんですけど、まだ迷いはあるという形でお話ししたいと思います。まず 1番の「本・資料・情報」っていうことは古いもの新しいもののあらゆる情報が正 しい情報として、そして早く十分にアクセスできること。誰かに情報が届かないと いうことがなくて、どんな人でも求める情報に正しくできるだけ早くアクセスで きるような機能がある。あと宮沢賢治観、観点ですね、思想とかそういったものが 表現されている日本一の情報発信であり、収集であるっていうところが求められ るのではないかというところでそこはちょっと載せさせていただきました。あと2 番の「運営・サービス」の部分は、人材ですね。司書のお話ありましたけれども、 その図書館の顔になってるスタッフが、スーパー人材、優秀であることっていうの は、優秀はいろいろあるんですけど、そのニーズに応じてちゃんとこう合わせて対 応してくださる、そしてクリエイティブであるっていうところありますね。そうい った機転がきく優秀な人材っていうのが欲しくてそれは民間からでもいいから引 っ張ってきてほしいという形で思っています。あと、食と健康をつなげられるサー ビス、カフェっていうところもありますし、あと食の人間がいるんで、おにぎりと かやっぱり一次産業っていうものを考えられる、そういうところっていうのは必 要だよねっていうところは、花巻ならではっていう意味ではこだわりたいという 意見出ています。あと3つ目「建物・環境・施設・家具」というところなんですけ ども、まず場所ってどんなイメージって言ったときに、まだ絞り込めてない状況で す。で、駅からのアクセスは近いほうがいいけれども横づけでなくていい。みんな が集まれる場所がいいし、柔軟に選定してもいいんじゃないかというふうな形で 今回、新興跡地の丘の上のほうですね、まなびの横ら辺なのかもしれないですけ ど、そういうところだって本当はいいところなんだよねっていう話が出ています。 そこへのアクセスの質、車だけじゃなくてやっぱり歩行者とか自転車とか公共交 通とか、いろんな用途で行けて、そしてしかも楽しい道であるし、安全な道である っていうことが、重要な場所よりはそのアクセスの楽しみであるとかあとは保障 されている空間っていうのが、大事なんじゃないかということです。あとは建物の 中身なんですけども、防音の個室、防音性ですね、音のコントロールっていうのが 非常に重要なんじゃないかっていうことが意見出ました。グループ活動でも使え るし、単独活動でも使える。で、イベントもできるし、お話もできるんだけど静か に対応できるところもあるっていうことで、防音っていうスタジオっていう意味

の防音もあるし、あとは音がコントロールされているそういった区画っていうのの提案っていうのも含まれています。あともう一つ、外と建物との関連性ですね、さっきアクセスの話もしたんですけども、外構工事も含めて、人と本が光る美しさ、開放的で洗練されている内部の配置配架、通路照明、外構も含めて、ということでここに来ると、何かこう心が躍って図書館っていうものに来るのが楽しいわ、というようなそういったものがつくり込みがされている建物の機能、です。冒頭ちょっと苦労をしたっていうところなんですけどもやっぱり図書館に対してもっと夢を語りたいっていう思いがあるんですよね。意見出されていろいろ、今日のために考えてくださった参加者もいてですね、やっぱり図書館っていうのはやっぱり成長するいう有機体、私たち自身も成長するし、図書館自身がそれを表現していってどんどん中身を進化させていくっていうことになるので、やっぱり夢の視点をもっともっと持って話をしてから、いろいろ作戦というものを考えていったほうがいいんじゃないかというふうに感じたという今日 1 日の感想も含め発表にかえさせていただきます。以上です。

生涯学習課菊池

はい。全ての班発表していただきました。大変ありがとうございます。今回でき上がったものをですね、既にもう写真撮られてる方もいましたけども、ぜひ皆さんで撮っていただきたいなというふうに思いますし、またこちらのほうで本日できました分類とかですね、重点につきましては、次回以降の資料として、また活用できるように、冊子のような形にできればいいのかなと思いますけども、まとめまして、また事前に皆さんにお渡しできるような形にしていきたいなというふうに考えております。今回できました重点は、次回以降もうちょっと細かいサービスとかそういったものを考えていきたいなというふうに考えているんですが、やり方については、もうちょっとこうですね内容検討しまして、進めていきたいなというふうに思っておりましたけども、次回以降に活用できるようにということでは考えております。頑張ってまとめていきたいと思います。それでは本日も3時間という時間でしたけども、皆さんには一生懸命、頭の中で汗をかいていただいたということになります。ここでですね、早川先生のほうからワークショップ全体を見たですね、ご講評をいただければいいのかなと思っておりますがよろしいでしょうか。はい。よろしくお願いいたします。

富士大学早川教授

はい。私がもう改めて言うことはそんなにないかなっていうふうに感じました。皆さんの発表でですね、特に印象に残った言葉が幾つもありました。まずは、「未来に出会える場所になればいいな」ということですね。あとは「いろいろチャレンジできる場になればいいな」というところですね。それが「行動に移せる」と。図書館は可能性を提供する機関というふうにも言われます。もう、このワークショップでそういうところがかなり出てきてるなっていうふうに感じました。あとは皆さんの発表聞いていて、さすが図書館のことをかなり勉強されているなっていう

ふうに感じました。冒頭でも申し上げたんですけども、各自治体でですね、花巻市 であれば花巻市で、新しい図書館をつくるっていうのは数十年に 1 度だと思いま す。新しい図書館でですね、図書館のことはわからないことがあっても当たり前だ っていうふうな言い方をしてきましたけども、皆さんのように学ぶところから始 めて、こんな図書館がいいなあというような考えが出てきているっていうのはま さしく、繰り返しますけども、民主主義の学校っていうふうに言われますけども、 そういうお手本を見せていただいているなっていうふうに感じました。最後に、私 南相馬でこんなことがありました。障がいを持った女の子でですね、酸素ボンベを 離せない、しょっちゅう酸素ボンベを引きながら歩いている子がですね、福祉課の 職員と施設の職員と一緒に来てですね、相談に見えました。この子は図書館が大好 きなんだと。 図書館で何かこの子がいられる場所、 何か仕事が、 簡単な軽作業がな いだろうかというので相談をしました。その子言葉は発せられません。でもこちら の言ってることは理解できる。図書館が大好きで、返却されたCD・DVDの清掃 とか、いろんなものをやってもらいました。その子が来る度いつも楽しそうにし て、笑ってるんですね。半年前ぐらいですかね、私のところへラインが入ってその 子が息を引き取ったと。非常に残念だったんですけども、今覚えてるのはその子の 笑顔しか思い浮かばないんですよ。で、南相馬の図書館に行ったら何と事務室の正 面にその子が完成させたジグソーパズルが飾ってありました。僕はもうそのとき は花巻に来ていたので話できなかったんですけども。最後に「図書館楽しかった?」 って聞いてみたかったなあと思いますけども。パズルを見るとですね、その子の息 を引き取る直前までの居場所の一つであったことは間違いないかなっていうふう には、今までも感じています。花巻の図書館もですね、そういうふうな場所に、全 ての人に居場所の一つとして選ばれる場所に必ずやなっていくだろうなっていう ふうに感じました。以上で私の話を終わらせていただきます。

生涯学習課菊池

はい、早川先生大変ありがとうございます。それではですね、今日の作業は以上ということになります。ここからは最後になりますが、事務連絡等々を言って終了としたいと思います。それからですね、事務連絡の前にちょっと一つだけですけども、こうやって皆さんと一緒にワークショップをやってるわけなんですが、花巻市のほうで、我々生涯学習課のほうでですね、今日各種団体のほうからも、代表でお越しいただいてる方々もおりますけども、そういった団体さん等と意見交換であったり、図書館の説明会であったりですね、やろうというふうに考えております。ぜひそういった形で説明しに来てほしいなとか、話し合いしたい、意見交換したいっていう事がありましたらば、そういった団体さんがおりましたらば、ぜひ御連絡いただければなというふうに考えております。そちらのほうに向かいまして、いろいろとお話をさせていただければなというふうに思っておりますので、ぜひ手を挙げて説明会をお願いしますというような形でお願いできればなと思っておりますので、お願いいたします。それでは事務連絡となります。本日もアンケート用紙

がですね、封筒の中に入っておりましたので、アンケートの御記入をお願いいたし ます。それから次回 4 回目になりますが、次回は 10 月の 11 日です。10 月の 11 日、日曜日です。場所は今日と同じここになります、花巻市交流会館が会場です。 また今日と同じようにですね、現地集合でお願いしたいということなんですが、送 迎の車も準備しておりますので、御利用の方は言っていただければなと思います。 出発時間は、まなび学園前から8時30分発です。また今日同様にですね、8時45 分から受付が開始できるんじゃないかなと思っておりましたので、そのころお越 しいただきたいと思いますし、開会は9時からを予定しております。メールアド レスを教えていただいてる方には、次回のお知らせをメールしますし、一応の今日 の封筒にも次回のお知らせを入れております。はい。それではですね、アンケート の御提出、それからネームプレート回収いたしますのでお願いいたします。なお、 朝にまなび学園から送迎の車でこられた方、いらっしゃいますけども、帰り 10分 後ぐらいでもいいですか。12時 15分とか、お揃いであれば早く出発いたしますけ ど、一応12時15分出発としたいと思います。よろしくお願いいたします。はい。 それでは、本日は以上で終了になります。大変ありがとうございました。各自気を 付けてお帰りいただきたいと思います。大変ありがとうございました。

●各班が作成した模造紙 ※模造紙に書かれた意見やアイデアは別紙にデータ化しています。 ※班員の氏名について白抜加工しています



























